

文藝絶佳

BUNGEIZEKKA

写真を通して作品と出会う、作家と出会う、
小説や作品の生まれた場所を訪ねる…

観覧
無料

— 林忠彦、齋藤康一、林義勝、夕力才力邦彦 — 写真展

2014年4月19日(土)～6月29日(日)

休館日：毎週月曜日(5月5日を除く)、毎週第2木曜日

観覧時間：午前10時～午後5時 ※金曜日は午後8時まで

会場：町田市民文学館ことばらんど 2階展示室(原町田4-16-17)

物語を紡ぐのは「小説」だけではない

名作の舞台を旅した記録。

作家たちの日常を写し込んだポートレート。

歌舞伎や能など伝統芸能のワンシーン。

文芸写真をゆっくり鑑賞していると、思い出の作家たちに出会うような、
作品の舞台に引き込まれるような感覚に陥ることがあります。

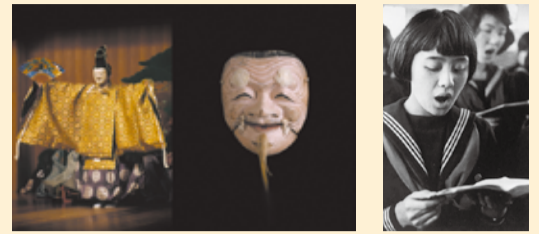
写真家は作品や被写体に刺激を受けながらも、独自の視点で「物語」を
写真に納めようとしている。

映像の世界に身を置きながら、誰もが思い描く事のできる「その瞬間」を
刻もうとしている。

「文藝絶佳」

それは、文芸の世界に魅せられた4人の写真家が紡ぐ極上の物語。

問い合わせ 町田市民文学館ことばらんど (☎739-3420)



左上から時計回りで
「翁」(「観世清河寿の能」より)
「若い人」(「小説のふるさと」より)
「町田文学散景」より
「五木寛之」(「昭和の肖像」より)

会期中、オープニングイベント、対談&トークショー、映画上映会等の
関連イベントを実施します。詳しくは、町田市民文学館ことばらんど
まで問い合わせ、または町田市ホームページをご覧ください。

町田市歴史の一コマ

町田へのキリスト教伝来

最近では聖徳太子の存在を
疑う説が出るなど、歴史は常
に新たな発見と解釈により書
き改められています。郷土史
も一緒に、『町田市史』で紹
介された内容でも、時折新た
な発見があります。

『町田市史』には1910
(明治43)年に若松菊哉牧師
が初めて原町田に定住布教
した、とありますが、自由
民権資料館所蔵の史料から、
1891(明治24)年すでに
に耶蘇教講義所があったこと
が分かりました。

その史料は、町田村の青年
結社大成会(すぐ辛卯会に
改称)の活動記録で、こ
の結社は現町田地区の青
年たちが定期的に集い、
演説や討論をする学習結
社でした。演題・論議に
は実業・地域振興・行動
規範などが取り上げられ

大成会「記事録」
冒頭に「原町田中宿秋間氏
宅耶蘇教講義所」とある。



第3回 まちだとしょかん子どもまつり

今年も、まちだとしょかん子どもまつりを開催します。
絵本や語りなどのおはなし会、言葉とリズムで楽しむ
わらべうたあそび、おもしろい本を紹介するブックト
ーク、おはなしに参加するアニメーション、体験型ワーク
ショップなど、子どもも大人も素敵な本やおはなしに出
会える5日間です。

皆さん一緒に、図書館で楽しいひとときを過ごしまし
よう!

開催日 2014年3月26日(水)～3月30日(日)

会場 中央図書館(原町田3-2-9)ほか
市内の各地域図書館

詳しくは、町田市ホームページを
ご覧ください。

問い合わせ
中央図書館児童担当(☎728-8220)



連載

町田市の文化財をご存知ですか?

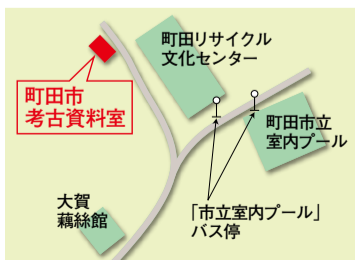
第14回

ちゅうくうどぐうとうぶ 中空土偶頭部

この文化財は、今からおよそ3300年前(縄文時代
後期)の人形の呪術具で、小山町の田端東遺跡の発掘
調査で1988年に出土しました。現存高は7.2cm、厚さは
3mm程度しかありません。内部は全て空洞で、頭頂部
には太い円筒状の髪結び表現が2本あります。また、顔面
は眉と鼻をつなげたT字形の表現と、コーヒース豆のよ
うな両目に特徴があります。この様式は、北海道函館市
の国宝「中空土偶」と同じですが類例が少なく、頭部の
残り具合は国宝より優れていることから、2014年1月、町
田市指定有形文化財に指定されました。



▲中空土偶頭部
現存高7.2cm
縄文時代後期
(約3300年前)



収蔵及び展示場所：町田市考古資料室
(下小山田町4016)

入室無料

開室日：第2・4土・日曜日・祝日
午前10時～午後4時

案内：町田バスセンターからバスで
市立室内プール 下車
徒歩10分(駐車場有)

☎：797-9661

自由民権資料館特別展 町田市考古セレクション2

(町田市指定有形文化財 新指定記念) 入館無料

左記の「中空土偶頭部」が2014年1月10日に町田市指定有形文化財
に指定されたことを記念して、この土偶をはじめ、市内の縄文時代遺
跡出土品から、選りすぐりの70件が一堂に会す展覧会を下記の通り開
催します。

市内全域から厳選した16遺跡の、縄文時代の代表的な生活具で
ある石器、土器、土偶、土鈴、顔面把手、耳飾りなどを展示します。

これらは、町田の縄文人が石や粘土、樹木等の自然物を利用して、
厳しい自然環境のなかで生き抜くために作製し、実際に使って
いた道具です。

今回は、数千年の時を経て素朴ながら美しい造形の数々と、そ
の作製や使用方法が想定できた出土品の復元例も紹介します。

会期：2014年4月19日(土)～6月8日(日)

休館日：月曜休館(ただし5月5日は開館し、5月7日は休館)

観覧時間：午前9時～午後4時30分

会場：自由民権資料館(野津田町897)

会期中、下記の日程でギャラリートークを行います。

予約不要です。お気軽にご参加下さい。

4月26日(土)、5月10日(土)、5月24日(土)

午後2時から1時間程度

問い合わせ 自由民権資料館(☎734-4508)

展示内容については生涯学習総務課文化財係(☎724-2554)

※2014年4月19日(土)～6月8日(日)は自由民権資料館特別展「町田市考古セレクション2」でご覧いただけます。

生涯学習に関する施策を着実に推進するため、「町田市生涯学習推進計画」を策定しました。※町田市生涯学習センター、各市立図書館で閲覧できます。